

令和 7 年度

運営に関する計画

大阪市立豊里小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○令和 6 年度の全国学力学習状況調査の正答率は算数・国語とも、大阪市、全国平均を下回る結果となった。また、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果多くの項目が大阪市平均を下回っている。しかし、児童の学びや活動に対する意欲は高く、何事においても柔軟に最後まで取り組むことができる。学校全体としては、落ち着いて学習に向かう姿が見られる。本校の児童の備えもつ力を生かし、学習や運動に対する取り組み、基礎基本の力が充実ができたと考えている。

○児童同士の仲はよく、何かがあれば声をかける、一緒に解決をしようとする優しさもある。休み時間は外で元気に遊び、さらに異学年でも関わりも日常的にあるので、何か困ったことがあった時は助け合う共助の様子も見られる。しかし、不登校児童の在籍率は高い。未然防止に努め、学校が安心した居場所となるようにしたい。

○さまざまな視点から、取り組みの意義を捉え、発信していくことが本校の学校運営の向上につながっていく。それが保護者や地域に信頼されることである。それをめざして学校全体で取り組んでいくことが大切である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和 7 年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 90 % 以上にする。
(基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現)

○毎年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を毎年、前年度より向上させる。
(基本的な方向 2 豊かな心の育成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和 7 年度末の校内調査における「体育の授業の時間に目標をもってしっかりと体を動かすことができた」の項目について「はい」と答える児童の割合を 80% 以上にする。
(基本的な方向 5 健やかな体の育成)

○令和 7 年度末の校内調査における「英語を使って楽しく活動している」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を 80 % 以上にする。
(基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の増加)

【学びを支える教育環境の充実】

○令和 7 年度、授業日において、児童の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の 55 % 以上にする。(基本的な方向 6 教育 DX デジタルトランスフォーメーション)

○令和 7 年度末、第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（超過勤務 45 時間未満）を満たす教員の割合を 70 % 以上にする
(基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83.5%以上にする。
(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を、前年度より減少させる。
(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和7年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を93.5%以上にする。
(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和7年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と答える児童の割合を、前年度より向上させる。
(基本的な方向2 豊かな心の育成)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を41.3%以上にする。
(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)

○令和7年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)

○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78.8%以上にする。
(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加)

令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65.8%以上にする。
(基本的な方向5 健やかな体の育成)

○令和7年度の小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を前年度より向上させる。
(基本的な方向5 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の73.5%以上にする。
(基本的な方向6 教育DXデジタルトランスフォーメーション)

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1（超過勤務45時間未満）を満たす教員の割合を91%以上にする。
(基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立豊里小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】	
○令和7年度の小学校学力経年調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を83.5%以上にする。（R6年度 <u>83.4%</u> ）（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）	
○令和7年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率（R6年度 2.04）を、前年度より減少させる。 （基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）	
<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度末の校内調査における「学校のきまりを守っていますか」の項目に対して「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と回答する児童の割合を93.5%以上にする。（前年度 <u>93%</u>）（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現） 令和7年度末の校内調査における「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、「あてはまる（どちらかといえばあてはまる）」と回答する児童の割合を、前年度（86.1%）より向上させる。（前年度 <u>86%</u>） 	
	（基本的な方向2 豊かな心の育成）

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 アンケートや日々の観察により、「いじめ」の未然防止、早期発見、早期解決を図り、いじめを絶対に許さない心を育てる。	
指標　・学期に1回、アンケートを実施し、早期発見・早期解決を図る。 ・事案があったときは、聞き取り、事後指導を丁寧に行い、記録に残す。 ・「いじめ・いのちについて考える日」において共通課題を投げかけ、各学年の実態に合わせていじめについて考える機会を設ける。	
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 遅刻・不登校を減少させるため、児童や家庭に働きかけるための連絡・支援を策定し、全職員で共通理解を図る。	
指標　課題の整理と取組みの改善を図るため、月に1回連絡会を行い、全職員で共有する。	
取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 学校生活において、将来、規範意識をもって生活できる力を育成する。	
指標　・朝会等で、月目標を通して、ルールを守ることの大切さを伝える。 ・各学級における、学習規律やルールを明確にし、帰りの会等で週1回程度、確認の場を設ける。	
取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】 児童が自己有用感を高めながら、明るく楽しい学校生活を送れるようにする。	
指標　・学級活動等で、友だちの良いところを見つける取り組みを学期に1回行う。 ・児童会行事、縦割り活動、児童集会、校内外体験学習などを通して異年齢交流を深め、違いを認め合い利他の心構えをもつことができるよう月2回以上行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

《年度目標の達成状況》

学校園の年度目標

《取組の進捗状況の結果と分析》

〈取組内容①〉

〈取組内容②〉

〈取組内容③〉

〈取組内容④〉

次年度への改善点（後期）

〈取組内容①〉

〈取組内容②〉

〈取組内容③〉

〈取組内容④〉

大阪市立豊里小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 ○令和7年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を41.3%以上にする。 <u>(R6年度 41.1%)</u> ○令和7年度の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01P向上させる。 <u>(R6年度 1学年達成)</u> ○令和7年度の小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を78.8%以上にする。 <u>(R6年度 78.7%)</u> ○令和7年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を65.8%以上にする。 <u>(R6年度 65.7%)</u> ○令和7年度の小学校学力経年調査における「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。 <u>(R6年度 92.6%)</u>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 課題に対して一人ひとりが意見をもち、対話的交流を通して考えを深め合う指導方法や教材の工夫を行う。 指標 ・公開授業・討議会・研修会などを月に1回程度行う。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 基礎学力の向上を目指し、個に応じた指導法を工夫する。 指標 モジュールタイムを活用し、学期に1回以上、言語力・計算力を高める強調週間を行う。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 外国語活動・英語科教材を日々の学習で使えるように整備し、授業の構築を図る。 指標 令和7年度末の校内調査における「英語を使って楽しく活動しようとしている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80.1%以上にする。 <u>(前年度 80%)</u>	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 体力向上のための取り組みを計画したり、体育科授業の充実を図ったりと、目標をもって運動に親しめるようする。 指標 ・令和7年度末の校内調査における「体育の授業の時間に目標をもってしっかりと体を動かすことができた」の項目について肯定的に答える児童の割合を90%以上にする。 <u>(前年度 89.5%)</u> ・学期に1回、体力向上週間を設ける。（新体力テスト、なわとびギネス、かけあしタイム）	
取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 基本的生活習慣の確立のために、学期ごとに「元気アップウイーク」を設け、児童の意識付けを図	

るとともに、家庭にもフィードバックしていく。

指標 「元気アップウイーク」の自己評価で「早寝・早起き・朝ごはん・排便」の項目の達成状況を前年度より上回るようにする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

《年度目標の達成状況》

年度目標

-
-
-
-
-

《取組の進捗状況の結果と分析》

- 〈取組内容①〉
- 〈取組内容②〉
- 〈取組内容③〉
- 〈取組内容④〉
- 〈取組内容⑤〉

次年度への改善点（後期）

- 〈取組内容①〉
- 〈取組内容②〉
- 〈取組内容③〉
- 〈取組内容④〉
- 〈取組内容⑤〉

大阪市立豊里小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の 73.5 % 以上にする。</p> <p style="text-align: center;">(基本的な方向 6 教育DXデジタルトランスフォーメーション) <u>(前年度 73.4%)</u></p> <p>○第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1（超過勤務 4.5 時間未満）を満たす教員の割合を 91 % 以上にする</p> <p style="text-align: center;">(基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり) <u>(前年度 90%)</u></p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 6 教育DXデジタルトランスフォーメーション】</p> <p>日々の授業で、学習者用端末や ICT 機器を活用した学習内容を設定する。</p> <hr/> <p>指標 校内調査における「学校生活の中で、学習者用端末や ICT 機器を活用して学習している」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 94 % 以上にする。</p> <p style="text-align: center;"><u>(前年度 93.5%)</u></p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>仕事と生活の両立支援の在り方を見直し、ゆとりのある時間を設ける。 児童と向き合う時間を確保し、教職員が健康でかつ活気ある環境をめざす。</p> <hr/> <p>指標 ゆとりの日（定時セッット日）を週 1 回設定し、18 時までには退勤する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

《年度目標の達成状況》

学校園の年度目標

○

《取組の進捗状況の結果と分析》

〈取組内容①〉

〈取組内容②〉

次年度への改善点（後期）

〈取組内容①〉

〈取組内容②〉